

絆を結ぶ上で重要なこと

石田 奈穂

私は今回アメリカで、多くの貴重な体験をしました。今まで周囲の言語は日本語でしたが、それが今回は英語となり、知っているはずの知識が出てこないという苦い経験もしました。しかし、ホストファミリーはとても暖かく、手探りで英語を話す私をゆつくりと待ち、内容を理解しようと精一杯努力してくれました。私も、彼らの話を精一杯聞き取り、分からないことは聞くように心がけ、完璧とはいかずとも会話できるようになりました。

言語は、コミュニケーションをする上で確かに重要なものです。しかし、言語がなくとも人間の絆は生まれるものだと感じました。私が英語で会話できるようになったのは後半になってからでしたが、絆はそのとき既に確かに生まれていたからです。同じ時間を共有する、このことが絆を結ぶ上で一番重要なことです。

同じ言語の地域では知り得ないことを今回学ぶことができました。このような素晴らしい機会を下さった大磯町姉妹都市協会の皆さんをはじめ姉妹都市事業に携った皆さん、ありがとうございました。

言葉ではないコミュニケーションの大切さ

岩本 和也

僕にとってホームステイは、初めての体験でした。知らない人の家での生活、言葉の問題や海外で生活することなど不安でした。

しかし、実際に行ってみるとほとんどの不安は無くなりました。なぜなら、家族は皆優しく、フレンドリーで僕のぎこちない英語も一生懸命に聞こうとしてくれたからです。会話になつていたかどうかはわかりませんが、僕は気持ちを伝えるために知っている単語を並べ、ジェスチャーを使い、たくさんコミュニケーションが取れるよう努力しました。短時間でしたが、こんなにコミュニケーションが取れ、仲良くなれたことに驚きました。

ホームステイという貴重な体験をし、異文化に触れ、コミュニケーションの大切さを学び、いつかこの体験を活かしたいと思いました。

ホームステイというチャンスをいただいたことで、楽しい思い出と大きな経験ができたのは、姉妹都市協会の方をはじめ多くの関係者の方のおかげだと思います。ありがとうございました。

国際姉妹都市派遣高校生渡航記

町姉妹都市協会から、国際姉妹都市である「米国ウィスコンシン州ラシン市」に町内在住の高校生4名を派遣しました。派遣高校生は、7月22日(木)から8月5日(木)までの2週間、大磯町の魅力をPRしたほか、米国の家庭生活を通して、文化の違いやコミュニケーションの大切さを身をもって経験してきました。ここでは4名の渡航記の一部をご紹介します。

◎問い合わせ 総務課 内線 211

◀左から岩本さん、石田さん、ラシン市長、富田さん、金子さん（ラシン市庁舎にて）



驚きの連続の中で

金子 智紀

僕は、米国のラシン市にホームステイに行き、一週間という短い期間でしたが、様々なことを学ぶ事ができました。

まず、ラシンに着いて感じた事は、空気が違うという事でした。風も冷たく空気がさらっとしていました。気温を尋ねたところ、いきなり文化の違いを知らされました。日本で気温と言えば摂氏で表すところ、華氏で言われたので、聞いた時は意味不明でした。後になって気がつきました。他にも、いろいろな単位の違いに驚かされました。中でも、食事の際、牛乳がガロンのビンで出て来た時は、その量に驚きました。

ラシンでの経験は、僕にいろいろ考えさせてくれ、物事に対する考え方が少し変わったと思います。相手の言っていることは理解できるが、うまく英語に訳せず自分が伝えたいことを表現できない。だから、伝えたい事が伝えられるようもっと英語を勉強したいと思いました。

最後に、姉妹都市協会の皆さん、関係者の方々には大変感謝しています。貴重な体験をさせていただきありがとうございました。

一生に残る経験と宝物

富田 芽衣

ホストファミリーの家へ行き、『you're my family』と言われハグをされた時、初めて自分がホームステイをするのだなと実感が湧いてきました。

驚きの毎日でしたが、一番驚いたのが食生活です。アメリカ人はジャンクフードを毎日のように食べていることを想像していましたが、正反対で健康的でバランスのとれた食事で、とても口に合い美味しかったです。そしてホストファミリーを含め、アメリカの人々は様々なことを柔軟に受けとめられる心を持っていてと感じました。ホームステイでの出来事一つ一つに喜怒哀楽の表情がはつきりと見えました。自分の感じたことを他の人と共有できる雰囲気を持つているように思います。だから会話が続き、言語が異なつてもコミュニケーションがとりやすかったです。

笑いの絶えない毎日だった分、別れがとても悲しくたくさん泣きました。3年後にまた絶対来るね、と約束をしました。

一生残る経験、宝物をこの夏にもらったと思っています。町姉妹都市協会の皆さん、ラシン市の皆さん、本当にありがとうございました。